

# Beside you

... あなたのそばに ...

みんなで創る**地域。**  
みんなで創る**福祉。**



## CONTENTS

P 2 **特集 みんなの計画**  
**「第3次地域福祉活動計画おおつき花さきプラン」**

表紙イラスト提供：北川（坂本）怜菜さん

- P 6 赤い羽根共同募金のお願い
- P 7 社協行事のお知らせ・行事報告
- P 8 ボランティアだより
- P 10 サロン紹介
- P 11 ふたば保育園・障がい者福祉の会
- P 12 おおつきで頑張る若者



社会福祉法人  
大月市社会福祉協議会

# 特集

## みんなの計画 「第3次地域福祉活動計画おおつき花さきプラン」



※第3次地域福祉活動計画を検索するには・・・  
 大月市社会福祉協議会ホームページ：<http://www.ottsuki-shakyo.jp/>  
 ↓大月市社会福祉協議会ホームページのトップ画面内の【大月市社協について】をクリック↓地域福祉活動計画「おおつき花さきプラン」の【第3次地域福祉活動計画PDF】をクリック

第3次地域福祉活動計画おおつき花咲プラン(5ヶ年計画)は、本年度、中間年を迎えています。

この地域福祉活動計画は、地域内のさまざまな社会資源と住民や民間団体が行う活動を結びつけながら、地域の課題解決に取り組むための計画であり、平成29年度に大月市社会福祉協議会が中心となって、各地域の住民福祉懇談会で出された意見や第2次地域福祉活動計画の評価などを基に策定した、民間の「住民活動計画」です。

大月市内における「地域福祉」に取り組むための具体的な「住民活動計画」と位置付けられ、これからの地域福祉活動を展開するための設計図といえるものです。

現在も、この地域福祉活動計画に基づき、区会・自治会、民生委員・児童委員、地区社協などの地域福祉推進組織や福祉施設、NPO法人、企業、行政機関等と協働しながら、「ともに生きる福祉のまちづくり」を目指した取り組みを進めています。

しかしながら、ここ半年間ほど、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な福祉活動も自粛を余儀なくされています。そこで、今号では、地域福祉活動計画の概要や重点的に取り組むことなどを取り上げ、改めて多くの地域住民の皆さんに計画に対して関心を持っていただき、この計画が「住民生活活動計画」である認識を更に高めていくとともに、新たな生活様式を取り入れた中で、地域福祉をどう進めていくのか、どのような活動が考えられるかなど、みんなで考えていく契機にしたいと思えます。

### 第3次地域福祉活動計画「おおつき花咲プラン」の概要

第3次地域福祉活動計画おおつき花咲プランの理念は、「みんなでつくる ささえあいの福祉のまち 大月」とし、この考え方は、市民と関係機関・団体が「ともに生きる福祉のまちづくり」の実現を目指すための方向を示しています。

この基本理念を基に、次の3つを基本目標に定めて、大月市らしい地域福祉の推進を目指すし、8つにまとめた事業(下図)に取り組みでいくこととしています。

#### 1、「ともにささえあう地域づくり」

少子高齢化の進行やライフスタイルの変化等により、地域におけるつながりが希薄化しています。

しかし、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるためには、地域でともに支えあうことが必要です。

社会福祉の意識の向上を図るとともに、地域で支えあうことができる体制づくりを進め、更には地域の福祉活動を支える人づくりを進めることで、ともに支えあう地域づくりを実現していきます。

#### 2、「だれもが適切な福祉サービスを利用してきる仕組みづくり」

大月市では個別の福祉計画に基づいて、様々な福祉サービスを展開しています。

福祉サービスの充実に住み慣れた地域で自分らしい暮らしを実現するために重要ですが、それだけではなく、必要な人に適切なサービスが提供されることも必要です。

福祉サービスの充実を図るとともに、サービス

スを利用しやすい環境を整備することで、福祉サービスの充実を図るとともに、サービスを利用しやすい環境を整備することで、誰もが適切な福祉サービスを利用できる仕組みづくりを進めます。

#### 3、「すべての住民が安心・安全を実感できる地域環境づくり」

高齢者や障がいのある人、子ども等、地域の住民が安心・安全を実感できる環境をつくることは必要不可欠です。このことは、災害等の緊急時の対応や防犯対策等だけではなく、普段から安心・安全に外出できるようにまちづくりを進めることが必要です。

安心して暮らせる環境の整備を進めるとともに、暮らしやすい環境を整備することで、すべての住民が安心・安全を実感できる地域環境づくりを進めます。

### 取り組む事業・活動

- 1 相談援助活動の充実
- 2 広報啓発・情報収集提供活動の推進
- 3 地区社会福祉協議会活動の推進
- 4 ボランティア活動の推進
- 5 福祉教育の推進
- 6 個別支援・当事者支援活動の充実
- 7 大規模災害への福祉的対応
- 8 福祉施策・制度への提案

### 今こそ原点回帰、「地区社協の強化」

日常的な地域福祉活動の実践は、地域住民のより身近な場面で展開されています。

このことから、今まで、大月市社協では、それぞれの地域性に基づいて「地区社会福祉協議会」「ふれあいいきいきサロン」などのさまざまな福祉活動・環境づくりをより一層充実、発展させることを心がけて、地域住民の皆さんや関係者などと協働により取り組んできました。

この考え方は、第1次地域福祉活動計画を策定した時からであり、特に当時(平成20年)「これからの地域福祉の推進は、地区社協の推進が必要不可欠である。まずは職員による各地区の担当制を導入し、地域へ出向くことから始め、汗をかきながら地域福祉を進めていこう!重点項目の中でも、「地区社協の強化」を重点に掲げ取り組もう!」と、熱い想いにより計画しました。

このことを軸に進めたことにより、地域福祉の浸透が徐々に進み、地区社協ごとに独自の事業が展開されるなど、支えあい、助けあいの花が地域に咲いてきました。

いま、国では、地域福祉の志向を強め、生活困窮者自立支援法の施行や地域包括ケアシステムの推進、地域共生社会の実現など、地域福祉の政策化が進められています。大月市も、この地域福祉活動計画の方向性と一致しており、ここから更に地域福祉を推進す

**地域の皆さんと一緒に考えていきます！**

地域の皆さん、地区社協、民生委員・児童委員、ボランティア、福祉関係者の皆さんとともに、人と人とのつながりを育みながら、「ともに生きる福祉のまちづくり」の実現をめざし、積極的に取り組んでいきます！



**安藤 剛**  
(地域福祉担当リーダー)

●七保・瀬戸・猿橋地区担当

●地区社協担当職員紹介

このことにより、地域住民一人ひとりが「地域福祉を推進する主体」という認識を高める機会になったと考えています。

このように進めた中、賑岡地区社協では、この機会に加えて更に、住民福祉懇談会等で

地域福祉活動計画をつくるプロセスで大切にしていることがあります。それは、住民参加です。

第3次地域福祉活動計画おつき花さきプランの策定においても、10地区社協の協力をいただき、住民福祉懇談会を各地区で実施し、多くの方に参加してもらいました。

このことにより、地域住民一人ひとりが「地域福祉を推進する主体」という認識を高める機会になったと考えています。

**みんなで地域のことを考えるために**

地域福祉活動計画をつくるプロセスで大切にしていることがあります。それは、住民参加です。

第3次地域福祉活動計画おつき花さきプランの策定においても、10地区社協の協力をいただき、住民福祉懇談会を各地区で実施し、多くの方に参加してもらいました。

このことにより、地域住民一人ひとりが「地域福祉を推進する主体」という認識を高める機会になったと考えています。

このように進めた中、賑岡地区社協では、この機会に加えて更に、住民福祉懇談会等で

地域福祉活動計画をつくるプロセスで大切にしていることがあります。それは、住民参加です。

第3次地域福祉活動計画おつき花さきプランの策定においても、10地区社協の協力をいただき、住民福祉懇談会を各地区で実施し、多くの方に参加してもらいました。

このことにより、地域住民一人ひとりが「地域福祉を推進する主体」という認識を高める機会になったと考えています。



**上條 若奈**  
(地域福祉担当)

●笹子・初狩・真木地区担当

いつも笑顔の山崎です。ご心配なこと、お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。地域の皆さんと一緒に解決に向けて考えていきます。



**山崎 宏**  
(地域福祉担当)

●大月・梁川地区担当

出された意見を基に「賑岡地区住民福祉活動計画」(5か年計画)という、地区独自の活動計画を策定しました。

これは、とてもとても大きな意味を持つものであります。地域住民一人ひとりが「地域福祉を推進する主体」という認識を高めることは勿論のこと、活動計画を身近に感じるとともに、まさに「住民活動計画」であることを知り学ぶことができ、地域全域に知らせ、広めることができる機会を創出するなど、効果的な計画策定の手順であったといえます。

このことは、地域福祉活動計画を見直すときや次回の策定の際に、他の地区においても参考になるものだと思います。



▲賑岡地区住民福祉活動計画 (賑岡地区社会福祉協議会 策定)

どうぞ、宜しく願います！

笹子・初狩・真木地区社協を担当させていただきます。各地域の特性を活かし、今できるところ、つながることができるところを一つずつ見つけ、地域の皆さんのお力になりますよう努めて参ります。



**安藤 博行**  
(地域福祉担当)

賑岡・富浜地区を担当させていただきます。地域の皆様とともに「地域のお宝」を見つけ、良さを生かしながら皆様が過ごしやすい地区を目指して頑張りたいと思います。宜しく願います。

●賑岡・富浜地区担当

○地域福祉って？  
地域福祉とは、自分たちが住む「地域」を主眼にして、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、全ての住民が地域でいきいきとした生活が送れるように、地域住民・事業者・行政等が協働してともに支え合う地域づくりを進めることです。

「新たなつながり」の創出に向けて、みんなで共に考え、取り組んでいきましょう。

「新たなつながり」を考えましょう

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況下ですが、国からは感染拡大防止と社会経済活動の両立に取り組みでいく考えが示されています。

大月市内においても、この影響により、多くの小地域福祉活動やボランティア活動等が自粛を余儀なくされています。この状況を少しずつ打開していくため、みんなで創意工夫のもと「つながり」を途切れさせないような活動を考え、実施していく必要があります。

地域福祉活動計画は、8つにまとめた事業(3頁の図)ごとに、地域住民、社協、福祉関係者、行政という4つの区分で、期待できること、其々ができることがまとめられていますが、コロナ禍で浮き彫りになった課題等を踏まえ、計画の見直しを図り、其々ができることの修正をしなければいけない活動も多く出てきています。



今年の大会は、大変残念ですが、表彰者のみの参加とします。  
来年度は、市民会館の大ホールで実施できることを願っています。

地域福祉推進大会は、11月27日（金）に大月市総合福祉センター6階多目的ホールにて、表彰のみを実施します。  
例年、市民会館大ホールにおいて、表彰のほか、地域福祉推進のためのアトラクション等を行い、当日は多くの皆様のご参加を頂いているところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は大幅に縮小しての開催といたします。

## 第45回大月市地域福祉推進大会の開催について

大月市社協における秋の三大事業のうちの、ツキフェス20並びにふれあい福祉バザーにつきましては、新型コロナウイルス感染症の防止対策を講じて実施することが出来るか検討しましたが、密を避けることが困難なことなどの理由から、大変残念ではありますが、本年度は中止することといたしました。  
また、来年度、開催の際には、多くの皆様のご参加を宜しくお願いいたします。

ツキフェス20並びにふれあい福祉バザーの開催中止について

## 社協行事のお知らせ

## 社協行事の報告



9月14日（月）にお助け隊活動の更なる充実と介護予防に関する知識や技術、高齢者等への基本的な理解を身につけ、適切な支援を行えるようフォーアアップ講座を開催しました。  
新型コロナウイルス対策として、マスクの着用や検温、手指の消毒、座席の距離、参加者を二部に分けるなどの徹底を図りました。  
講座の内容は、地方独立行政法人大月市立中央病院リハビリテーション科、理学療法士の小松文彦先生をお招きし、「介護予防の重要性や「体を動かす」ことの大切さ、介護予防の実践で使える体操やストレッチを学びました」。

講座には、44名の方が参加してください、実際にストレッチを行いながら、ストレッチの効果や注意点など熱心に耳を傾けていました。  
受講者の方には、今回の講座で学んだことを地域での主体的な活動（ミニデイサービス、いきいきサロン）などに役立て、介護予防に取り組んでいただきたいと思います。

## おおつきお助け隊フォーアアップ講座を開催しました!!!

## 令和2年度

# 赤い羽根共同募金運動

10月1日から始まります!

皆様のご協力をお願いします!

### ● 大月市の目標額

**5,727,000円**

(来年度【令和3年度】に実施したいと考える地域福祉活動事業の計画により算出した金額です。)

### ● 目標額について

共同募金は、さまざまな民間の福祉施設・団体または各地で行なわれる福祉活動に必要な額をもとにして、あらかじめ「使いみちの計画」をたてる計画募金という性質から目標額を設定しています。

### ● 募金の使いみち

昨年、大月市でご協力いただいた募金総額は、6,068,368円であり、このうち約7割は今年度大月市に配分され、残りの約3割は山梨県内の福祉活動などに役立てられています。

大月市では…

- ・地区社協活動推進事業（一人暮らし高齢者交流事業など）
  - ・老人憩いの家備品整備・修繕事業
  - ・いきいきサロン助成事業
  - ・ボランティアサークル等育成事業
  - ・社協だより発行事業
  - ・ファーストスプーン事業
- など地域の福祉活動に使われています。

山梨県では…

- ・県内福祉施設への助成
  - ・赤い羽根共同募金啓発活動事業
  - ・被災者支援金（災害義援金など）
- など山梨県全域及び全国の被災地など広域で使われています。



▲昨年度の街頭募金活動の様子

赤い羽根共同募金は  
大月市をよくするしくみであり  
大月の地域福祉活動を支えます。

# ボランティアだより

「福祉講話で点字を学ぼう」



毎年夏休みに市内のボランティアサークルの皆さんが行う「親子ボランティア活動体験」通称『ボラ活』。点字サークルや手話サークル、音訳サークルの皆さんが小学生等のために楽しく学べる内容を考え準備してくださるのですが、今年は、新型コロナウイルス感染症防止のため、開催できませんでした。

2学期になり、各学校からの福祉講話の依頼があり、先日は点字サークル「八重桜会」の皆さんが、七保小学校の児童に点字の学習のお手伝い、指導をしてくださいました。

点字の始まりやその必要性などお話をしていただき、児童は実際に点字版で身近なものの名前を打ったり、自分の名前を打って名刺を作ってみました。

その後は、学校内の教室の「クラス表示」を点字で打って壁に貼ってくださったのだそうです。

八重桜会の皆さん、児童の学習のお手伝い、ありがとうございました。

児童のみなさん、視覚障害に、また点字について理解を深めてくださり、ありがとうございました。

これからも様々な福祉について学習してくださいね。

いつでもお手伝いいたします！

## 「マスクのご寄付に感謝！」

7月の市社協だよりで呼びかけた「応援マスク」については、たくさんのご寄付をいただきました。政府配付マスクから手作りマスクを含め、633枚となりました。

福祉センターや市内各出張所のポスト、郵送で送ってくださった皆様、ご協力ありがとうございました。

いただいたマスクは、児童館、子育て支援センター、障がい者施設等にお届けいたします。



## ありがとうございます ご寄付と収集ボランティア活動の報告

●皆様のご協力に感謝いたします。  
今後ともよろしく願いたします。

(6月12日～  
9月7日迄・着受付分)

- ペットボトルキャップ・使用済み切手・テレフォンカード・牛乳パック・ベルマーク・プルタブ・アルミ缶・マスクなど
- 大嶽典則 / 杉本正文 / 初狩ボランティア協議会 / 林博之 / 無辺寺 / ナーシングホーム猿橋 (株)ふじでん都留営業所 / ガールスカウト山梨県第15団 / 上真木サロンさくら / 鈴木美知子 / 大月自動車 / 鳥沢幼稚園 / 佐々木さと子 / 吉角務 / 梁川ボランティア協議会 / 小林清美 / 水越繁子 / 坂本はな江 / 長谷川喜八郎 / 杉山利江 / 小林栄子 / 福嶋照子 / 奈良武則 / 小林京太 / 安藤恵以子 / 市川正則 / 大山若子 / 佐藤淑子 / 西室光子 / 小林恵子 / 小畑美海 / 水越正和 / 小林佳子 / ホームセンターオーツル / 梅澤芳子 / 鈴木綾子 / サロン黒野田 / 天野則子 / 福島利江 / 浅利ゲートボール愛好会 / 箕輪とも子 / 佐々木明美 / 畠山哲 / 葛野サロンすずらん会 / 和田信弘 / 瀬川志保 / 三嶋章好 / 田中加代子 / 山下あつ子 / 佐野佳夫 / 山梨スポーツ / 山口商事
- 中日本施設管理 / 小俣たみ代 / 條々七 / 行願寺仏教婦人会 / 竹田きせ子 / 古澤初江 / 清水商事 / 落合正代 / 皆川大造 / 介護老人保健施設ももくら (株)花田モーター / 町田克子 / 杉本泉 / 木馬の会 / お茶のみ会 / 峰沢 / 野呂瀬護男 / 杉本光男 / 山口和夫 / 菊地弘 / 増井みよ子 / 神倉集いの場 / 高鳥豪 / 天野知子 / 小俣公司 / 高石昭子 / (有)八光社 / 高久雪雄 / 富士見台老人クラブ / 中西春子 / 岡部四郎 / 小林充 / 天野龍弥 / 平本重幸 / 清水恵美子 / 小俣三子 / 天野由美子 / 小笠原かず子 / 長坂敦 / 小林コトエ / 小林勝子 / グループホームあおば / 小俣一広 / 吉岡りつ子 / 下真木ふれあいサロン (敬称略)

**大月市ボランティアセンター**  
(大月市社会福祉協議会内)  
大月町花咲10  
(大月市総合福祉センター)  
電話:0554-23-2001

## 「坂尻あじさいの会」

in 富浜町下鳥沢

- 休会中の4月には、お弁当を持って参加者宅を一人ずつ訪問しました。  
・・・みんなの様子が変わってなくて安心しました!!
- 2月から休会。再開について悩みましたが、参加者の皆さんの「やってほしい」という声から、しっかりとした対策をとるうえで再開しました!

### 活動紹介(主な内容)

「坂尻あじさいの会」は平成26年6月の紫陽花が咲く頃、富浜町下鳥沢坂尻地区に誕生しました。毎月第2水曜日に集まり、おしゃべり、歌、体操と共に、「間違い探し」の脳トレを行っています。皆の協力で7つ全ての間違いを見つけ出し、清々しい達成感を味わっています。

近所の方々と顔を見合わせておしゃべりする機会が少なくなっている近年、サロンに集まって互いの健康を確認し、笑いの絶えない時間を過ごすことはとても素晴らしいことだと思います。コロナ禍とはいえ、しっかり体調管理をし、マスク、消毒などの備えをして一緒に集う時間を大切にしたいと思っています。今年97歳になった和田功さんは我がサロンのホープです。

### 参加者の声

・コロナで何もできない、何もできなくて子供も孫も来ないから、お布団も干さないし、疲れないこと、寂しいことに慣れてきた。7月からサロンを再開して、みんなに会えて嬉しい!おしゃべりできて楽しい!

### ボランティアさんの声

・今までの生活が全て自由だったので、制限されてこんなに外出が怖くなるとは思わなかった。近所にサロンがあって少しでも外に出られると思うと嬉しい!

私たちも一緒に楽しんで参加しています。再開してからは公民館の利用規定に沿って、使用後の消毒をしたり、流しや湯飲みを使わないよう、ペットボトルのお茶にしたり、お菓子も持ち帰れるように用意しています。



○代表者 佐藤 百合子  
○参加者 6名  
○ボランティア 4名

▲写真撮影時、ほんの少しの間、マスクを外していただきました

## ふれあい充実!地域に開かれた保育園を目指して!

### 楽しかったじゃがいも掘り

今年雨の日が続く、なかなかできなかったじゃがいも掘り。七月二十二日 四回目にしてようやく無事に実施することができました。四五歳児が社協バスに乗り、瀬戸へ。保育園に出勤前に私が畑に寄ると、すでに近所のおばちゃんたちが草取りをしていました。そして、子どもたちが到着するときには大勢のおじいちゃんとおばあちゃんが、いつもと変わらぬ笑顔で子供たちを迎えてくれました。

温かいまなざしに見守られながら、小さくまざまざじゃがいもを掘り、バケツに入れて運んだり、虫を見つけたりと楽しいひと時を過ごすことができました。



### 「大月市障がい者福祉の会」

#### 会報誌をつくっています

大月市障がい者福祉の会では4月の総会をはじめ、6月の社会見学など、令和2年度の大きな行事が行われています。

理事会としては3回開催しているのですが、その都度、季節の行事について開催の可否を判断しています。

しかし、会員の皆さんが楽しみにしている行事を行うには、国の推奨する「新しい生活様式」や「3密の回避」をすることが難しいのが現状です。

会長をはじめ、役員や会員の皆さんからも「みんなに会えないのはさみしい」という声があり、会員同士の繋がりが弱くなってしまっただけで、会報誌を作成することになりました。

第1号は、10月初旬に出来上がります。会員の皆さんに郵送しますので、楽しみに待っていてください!

第2号は12月に発行予定です。ご意見いただけます方は、ぜひ市社協事務局にお声かけください。



## こんにちは!ふたば保育園です



今年コロナ禍のため、例年のように茹でたてホクホクのじゃがいもやマーガリンやマヨネーズをつけて食べた、冷えた甘いスイカを頂いたりできませんでしたが、たくさんのおみやげをもらって、子どもたちは大満足の様子でした。毎年獣から守るために柵をしながら、一生懸命じゃがいもを育てて下さった矢竹さんをはじめ瀬戸地域のおじいちゃんおばあちゃんには感謝の気持ちでいっぱいです。

優しい言葉や、温かいまなざしに、生きていくために大切な『自己肯定感』を強め、様々なことに意欲的に取り組む勇氣と自信を培うことができました。

本当にありがとうございます。これからも子どもたちの成長を見守って下さい。

(園長 小俣加代子)

瀬戸のおじいちゃん・おばあちゃん  
本当にありがとうございました♡



ご存じですか？社協のマーク？  
このマークは、社協の「社」を  
図案化し、「手をとりあって、  
明るいまわを社会を建設する  
姿」を表現しています。

<< 編集後記 >>

**い**つも、社協だより「Beside you」(＝あなたそばに)をご覧いただき、ありがとうございます。

今年の夏は、例年と違って花火大会やお祭りなどのイベント、夏の甲子園大会などなど、夏の風物詩といわれる催しが次々と中止になり、更には東京オリンピックが延期されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が続きましました。皆さまも、引き続き、色々なところで自粛を余儀なくされたのではないのでしょうか。

さて、今号では、中間年を迎えた地域福祉活動計画について特集を組ませていただきました。いま、地域ではふれあいサロンやボランティア活動など自粛をしているところが多く見受けられます。大月市における「人のつながり」は、まだまだ強いものがあるとは思いますが、これからは、顔だけちょっと見に行く、電話で安否や体調の確認をするなど、今までとは違った「助けあいのかたち」を創りあげていくことが必要かもしれません。みんなで考えていきましょう。

台風の心配が続きまとう時期に加え、まだまだ新型コロナウイルス感染症の終息も見込めない状況にあります。いつ発生するか分からない自然災害に備え、いつも以上に、「自分の命は自分で守る」ことをみんなで意識しましょう。

(広報委員会 委員 蔦木 豪)

すずき ようこ  
**鈴木 葉子** さん (24)  
(大月町)



おおつきで頑張る若者 28

●現在の職業は？

大月市立中央病院に勤務し、看護師をしています。

●趣味は？

音楽を聴くこと！好きなアーティストは UVERworld です (^\_^)

●仕事をしながら、本当に良かったと思う時は？

患者さんとお話をしていて「ありがとう」と言ってくれたときや、患者さんが退院するときに、最後に手を振りお見送りしますが、その際に元気な笑顔や姿を見ることができると、本当に良かったと思います。

今すぐアクセス！

大月市社協

検索



この「社会福祉・ボランティアだより」の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われています。

事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」  
介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501

大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132

ふたば保育園

〒409-0623

大月市七保町葛野 2783 番地

電話・FAX0554-22-3508